

日本テレビホールディングス株式会社
2024 年 11 月 19 日

LGBTQ+に関する取り組み指標「PRIDE 指標」

2 年連続「ゴールド」認定を獲得



日本テレビ放送網株式会社（本社：東京都港区 代表取締役社長執行役員：石澤顕、以下日本テレビ）は、一般社団法人「work with Pride」が主催する、企業・団体等における LGBTQ+などの性的マイノリティに関する取り組みを評価する「PRIDE 指標」において、「ゴールド」認定を 2 年連続獲得しました。

日本テレビホールディングスでは、サステナビリティポリシーの重要課題のひとつに「多様な人材の活躍と共生」を掲げており、その一環として、性的マイノリティへの理解促進につなげる活動を多岐にわたり行っております。

取り組み例として、社員が遵守すべき内部規範「コンプライアンス憲章」に性自認・性的指向を含むあらゆる人権を尊重することを定めている他、定期的な研修の実施、「同性パートナー制度」の導入、多様性を尊重するキャラクター「にじも」を活用したイベントの開催、就職活動時のエントリーシートにて「性別を選択しない」という項目の追加、東京レインボープライドへの出展とパレード参加などを行いました。



11 月 14 日(木)に本評価の結果発表及び各企業の DE&I 担当者などによる講演会が経団連会館・国際会議場で開催され、ことし 8 月に自身が LGBTQ+当事者であることをカミングアウトした日本テレビ放送網株式会社の取締役 山田克也が登壇。早稲田大学特命教授であるロバート・キャンベル氏と対談し、メディアとして根気強く多様性について発信していく重要性などを語りました。

今後も、様々なステークホルダーと協働し、性的マイノリティだけでなく様々なバックグラウンドを持つ社員ひとりひとりが自分らしく活躍できる企業風土の醸成に努めると共に、社会に対して多様性の理解と浸透のための情報発信を継続的に行ってまいります。

